

教育実習 C		実習	教授 准教授	松下 晋 堤 ひろゆき
科目カテゴリー	スポーツトレーナーコース、スポーツマネジメントコースの教職科目 柔道整復師コースの教職科目 救急救命士コースの教職科目	科目ナンバリング		11520402 12520402 13520402

1. 授業のねらい・概要

本講義は、教育職員免許取得を希望する学生が必修とされている「事前指導」「事後指導」のうち、「事後指導」を行うものである。具体的には、各自の実習日誌や学習指導案等実習期間中に作成した資料、各実習校での指導内容に関する報告を基に、各教科並びに学級経営や生徒指導など教科外領域の指導内容に関する検討を包括的に行う。これら一連の反省的な思索を踏まえ、学校教育を担う教員として必要な基本的知識とそのスキルを再度確認し、教育実習を通して得られた成果と課題を整理する。

2. 授業の進め方

受講者による教育実習に関する報告と検討、並びに担当者のコメントを軸に授業を進める。なお、受講者による報告は、自ら専門とする教科指導に関する事項のみならず、生徒指導や学級経営など、教科外領域における指導事項に関するものも含まれる。

3. 授業計画

1. 「事後指導」の意義と目的（オリエンテーション） 2. 教育実習の包括的な反省と整理 3. 生徒の実態についての気付きの報告並びにコメント① 4. 生徒の実態についての接し方等の報告並びにコメント② 5. 生徒の課題についての報告並びにコメント③ 6. 生徒の課題の改善点についての報告並びにコメント④ 7. 教育活動全体での生徒との関わりについての報告並びにコメント①（総論） 8. 教育活動全体での生徒との関わりについての報告並びにコメント②（授業等での視点）	9. 教育活動全体での生徒との関わりについての報告並びにコメント③（学級経営の視点） 10. 教育活動全体での生徒との関わりについての報告並びにコメント④（生徒指導上の視点） 11. 各教科指導上の課題についての報告① 12. 各教科指導上の今後の取り組みについての報告② 13. 教科外領域指導上の課題についての報告③ 14. 教科外領域指導上の今後の取り組みについての報告④ 15. 総括
---	--

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

配布資料及び参考文献の読解に 30 分程度、グループディスカッションや発表に向けての準備に 1～2 時間程度の準備学修を要する。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

各回の開始時と終了時、グループディスカッション及び発表等の後に講評を行う。

6. 授業における学修の到達目標

- ・教科指導（授業計画・学習指導案等）・教科外領域指導（生徒指導・学級経営等）に必要な基本的知識とそのスキルを習得し、他の学生及び担当者との意見交換が積極的に行われていること。
- ・教育実習を通して得られた成果と課題を具体的に分析し、教員免許取得までに必要な知識や技能等を整理できていること。
- ・教育実習で得られた自分自身の今後の課題に意欲的に取り組んでいること。

7. 成績評価の方法・基準

平常点（25%）、作成物等（20%）、教育実習の成績（55%）の総合評価。

○平常点については、実習後に各自が行う教育実習報告の発表内容及び態度とそれへの参画姿勢や態度等について評価

する。

○作成物については、教育実習終了後に提出する実習レポートを評価対象とする。

○教育実習の成績は、実習校からの『教育実習成績報告書』に基づき評価する。

8. テキスト・参考文献

文部科学省 中学校，高等学校の『学習指導要領』『学習指導要領解説 総則編』。最新のもの。

保健体育：文部科学省『中学校学習指導要領解説 保健体育編』

9. 受講上の留意事項

学部2年生終了時に、次の二つの「教育実習に関する学内規定」を満たしていること。

- ① GPA(Grade Point Average)値の総合が、2.0 以上であること。
- ② 次の両方を満たしていること。
 - (1) 教育の基礎的理解に関する科目の GPA が、2.0 以上であること。
 - (2) 教科及び教科の指導法に関する科目の GPA が、2.3 以上であること。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。